

薬学部

I	教育水準	教育 22-2
II	質の向上度	教育 22-4

I 教育水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

1. 教育の実施体制

期待される水準を上回る

[判断理由]

「基本的組織の編成」については、薬学部専任教員数が多く、寄付講座が多数開設され、少人数教育や個別指導、また教養課程教育組織も充実しているなどの優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。

「教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制」については、教務委員会等の教育内容改善組織が設置され、大幅なカリキュラム改訂や授業アンケートに基づく授業改善が行われているなどの優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。

以上の点について、薬学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育の実施体制は、薬学部が想定している関係者の「期待される水準を上回る」と判断される。

2. 教育内容

期待される水準にある

[判断理由]

「教育課程の編成」については、進学振り分け制度により学生の基礎教養科目の学習到達度が精査され、専門課程では薬学教育モデル・コアカリキュラムを網羅した科目構成が設定され、また授業アンケートにより授業改善が実行されているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「学生や社会からの要請への対応」については、進学振り分け時の学生の薬学部志向が高く、その80%は大学院進学希望で将来は研究職を希望する学生が多いが、後の項目にあるように授業形態の組み合わせで対応しているなどの優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。

以上の点について、薬学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育内容は、薬学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

3. 教育方法

期待される水準にある

[判断理由]

「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」については、講義、演習、実習、病院実習、卒業実習が合理的に配置され、また双方向性授業も設定されているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「主体的な学習を促す取組」については、教養課程の学生に最先端研究を紹介するオムニバス形式講義、主体的に問題解決能力を養う卒業実習とその学会型合同発表会が整備されているなどの優れた取組を行っていることから、期待される水準を上回ると判断される。

以上の点について、薬学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育方法は、薬学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

4. 学業の成果

期待される水準にある

[判断理由]

「学生が身に付けた学力や資質・能力」については、卒業前に退学する学生の率が低く、学部・大学院期間で9割の学生が薬剤師国家試験に合格しているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

「学業の成果に関する学生の評価」については、学生アンケートより、身につけた学力、問題解決能力、リーダーシップの到達度について学生の満足度が高いと判断されるなどの優れた成果があることから、期待される水準を上回ると判断される。

以上の点について、薬学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、学業の成果は、薬学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

5. 進路・就職の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「卒業（修了）後の進路の状況」については、大学院進学者の割合が高く、学習・研究意欲の高い卒業生を輩出しているなどの相応な成果があることから、期待される水準にある

と判断される。

「関係者からの評価」については、学生アンケートや卒業後の進路も良好であり、外部聴き取り調査では、当該学部卒業生が「幅広い教養を身につけているとともに、創造的な活動を行っている」等の良好な評価を受けているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、薬学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、進路・就職の状況は、薬学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

II 質の向上度

1. 質の向上度

相応に改善、向上している

当該組織から示された事例は3件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」または「相応に改善、向上している」と判断された。